

市長とドンドン語ろう！（産業版） 令和6年7月31日（水）18時30分から20時30分 意見交換内容 参加者：7人

テーマ：①熊本県外から見たくまもとの優位性（魅力）について ②観光客のニーズに対応した効果的な情報発信について

テーマ	No.	ご意見	回答
交通	1	熊本は、平日夜の街なかがとても寂しく感じる。お酒を飲んでから帰ろうとすると、市電やバスがなくなってしまう、代行やタクシーもなかなかつかまらないので、夜に街なかへ出ることに積極的になれない。	【市長】 今後は、ライドシェアなど新しい交通サービスで、既存の交通サービスの不足分を補っていくことも求められるのではないかと考える。
歴史	2	熊本は、歴史と街並みが大きな魅力だと感じている。熊本駅、新町・古町、熊本城、中心市街地エリアがつながると、より良くなるのではないか。	【市長】 新町・古町に観光客が楽しめる拠点を少しずつ増やすなど、各地域を活性化させることでエリア間のつながりがでてくるのではないかと考える。
	3	熊本は地域がもつ歴史的要素が観光資源でもあり、大きな魅力を感じている。	
熊本駅	4	熊本駅周辺に、もっとにぎわいがあると良い。例えば、県外から来た友人から「熊本駅近辺で飲食したい。」と言われたときなどに、すぐおすすめてできるお店があるとうれしい。	【市長】 以前と比べ熊本駅周辺はずいぶんにぎわいが増えたと感じているが、博多駅のにぎやかさ等に比べると、まだ差が大きいようだ。熊本駅周辺のさらなるにぎわいづくりが必要である。
新町 古町	5	熊本城周辺の新町・古町の魅力をもっと活かすべきではないか。古町地区の古民家カフェでは、地下が水路につながっており、観光客にとっても魅力的である。	【市長】 古民家カフェは海外からの観光客にも人気がある。インバウンド需要に対応した観光拠点が少しずつ増えていくことで、新町・古町がさらに活性化し、熊本駅と中心市街地の回遊性が向上されるのではないかと考えている。
	6	熊本駅と中心市街地をうまくつなぐことが大事だと感じる。	
熊本城	7	熊本の魅力といえば、すぐに思い浮かぶのが、熊本城・くまモン・阿蘇の火山。熊本城は国内外を問わず圧倒的な知名度を誇る観光コンテンツであり、VIPを対象とした観光ビジネスを展開するなど、もっと活用すべき。	【市長】 熊本城は、本市の重要な観光資源であり、その魅力をしっかりアピールできているのかを改めて考える必要がある。また、国からも、文化財を活用し、その魅力や大切さを多くの人々に伝え、理解を促進していくことについて指針が示されており、熊本城の持つ観光コンテンツとしての魅力を活用した政策を展開していく。
	8	熊本城おもてなし武将隊や桜の馬場城彩苑での伝統的なイベントは、とても魅力的だと感じている。	

テーマ	No.	ご意見	回答
川尻	9	川尻は体験型の観光資源が多くあり、アジア圏、特に台湾からの観光客にも人気がある。インバウンド需要の増加に対応した新たな観光地として、効果的に情報発信していく必要があるのではないか。	【市長】 川尻は、米蔵がオープンしたことで、観光的魅力がさらに向上している。この機会に、観光に訪れた方々の歴史・文化への認識や興味もさらに深まるようなストーリーを構築し、地域の観光資源として情報発信するなど、地域全体の観光振興に取り組んでいく。
食	10	熊本に住んでみたら、水・食べ物など、他県とは比べ物にならないほど美味しいが、熊本の「食」を紹介する情報が不足しているように感じる。また、美味しい県産酒が多く、日本酒、ワイン、焼酎、ビールなど全種類取り揃えてある。このような地域は全国でも稀なので、もっとアピールしていくべきではないか。	【市長】 食の魅力については、分かりやすく伝えることが大事である。熊本には酒蔵もたくさんある。熊本市だけではお酒や温泉、食べ物など、観光として完結できるものではないため、周辺の都市とのさらなる連携も必要だと考える。
	11	全国的に有名な馬刺しだけではもったいない。食について、馬刺し以外についてもアピールしていくべきではないか。生産量の多い野菜も良いが、それだけではPRとしてインパクトが少し弱い感じを受けるので、魚も熊本の食のアイコンとしてさらにPRすべきと考える。特に、天草で獲れた魚は美味しい。	【市長】 県外から訪れた方に熊本の美味しい寿司店を紹介したところ、東京銀座の寿司店よりも美味しかったとの感想をいただいたことがある。魚については熊本の新たな食のアイコンとして、工夫したPRが必要だと考える。
ナイト タイム エコノ ミー	12	熊本は、ジャズの文化もあり、個性的なバーやスナックが多く、夜も魅力的なまちだと感じている。SNSなどを活用したナイトツアーを企画するなど、夜の熊本をさらに楽しんでもいただけるような情報を発信してもらいたい。	【市長】 本市には、規模は小さくても雰囲気の良いスナックやバーがたくさんある。おしゃれで魅力的な飲食店が多くあるなど、夜の熊本観光の魅力をアピールすることで、効果的なプロモーションにつなげていく。
	13	観光客は、人とのふれあいも求めている。熊本を訪れて、「バーデビュー」をする人も多いと聞いている。	